

五ヶ瀬町新庁舎建設基本計画（案）に対する

パブリックコメントの実施結果について

○実施概要

1. 意見募集の対象

「五ヶ瀬町新庁舎建設基本計画（案）」

2. 意見募集の期間

平成30年12月1日（土） から 12月17日（月）

3. 公開の方法

- ・町ホームページに掲載
- ・役場総務課で閲覧

4. 意見の提出方法

- ・直接持参、郵送、電子メール、FAX

○意見募集の結果

1. 意見の件数

- ・意見を寄せた人数 4人
- ・意見の数 8件

No.	質 問 ・ 意 見	回 答
1	<p>現在の五ヶ瀬町役場は、玄関を入っても見る限りコンクリート造りで、木材がほとんど使われておらず温かさが感じられない。</p> <p>山間地の庁舎なので、杉・檜など木材をもっと多く使用して温かさの感じられる、素晴らしい庁舎を建設してもらいたい。</p> <p>国においても新国立競技場の屋根に国産の木材が使用されるとの事。杉、丸太生産日本一の宮崎県、林業県に相応しい建築物になるようお願いしたい。</p>	<p>今回の新庁舎建設においては、現庁舎の耐震診断の結果、極めて耐震性が低く、耐震化も厳しいとの指摘によるものが大きく、また、防災拠点としての位置付けもあることから強固な耐震性能が求められます。構造種別は今後の基本設計において検討していきますが、出来る限り木材の活用を検討したいと考えています。</p>
2	<p>五ヶ瀬には、子ども達が集えるような図書館の整備がなされていないので、子どもだけではなく大人の人も集い、交流ができるような図書館に準ずるようなスペースの確保をお願いしたいです。</p> <p>つくしんぼ文庫を開設して、子どもと絵本をつなぐ活動を頑張ってきていますが、新庁舎が建つ事で庁舎内にその拠点があれば、みんなが集えるように思えます。</p>	<p>スペースの確保については、敷地面積の制限や建築面積の増に伴う工事費の増加など困難な面もあるかと思いますが、町民が交流できるスペースの確保は基本構想段階から計画しております。基本方針のひとつである「町民が開かれた、誰もが使いやすい庁舎」を目指して今後も検討していきたいと考えています。</p>
3-①	<p>委託先である石本建築事務所九州オフィスの信頼、実績の評価は。</p>	<p>委託先の信頼及び実績評価については、公募型プロポーザルを実施し厳正に審査を行い決定しているところであり、プロポーザルの要件でもある同種業務実績（延床面積 3,000 m²以上の本庁舎等）を数多く手掛けており、信頼及び実績について、高く評価したところです。</p>
3-②	<p>町民からのパブリックコメントの意義と評価は。</p>	<p>前回、基本構想（案）についてパブリックコメントを実施し、頂いた意見を参考に基本計画（案）を策定しました。</p> <p>今回のパブリックコメントは、前述の基本計画（案）について町民の意見を広く聴くために募集を行っております。</p> <p>頂いた意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

No.	質 問 ・ 意 見	回 答
3- ③	<p>新庁舎の位置、現職員駐車場で安全は確保できるのか。安全対策は。</p>	<p>基本計画（案）にも記載してあるとおり、計画降雨浸水高よりも高い位置に建物を配置する計画としております。また、12月6日に県が公表した、想定し得る最大規模の降雨による洪水の浸水対策として、建物の出入口への止水板等の設置を検討しています。また、建設予定地の南東側傾斜地からは、十分な距離を確保するなど、万一の崩落に備えることを検討しています。台風、地震の対策としては、縦ルーバーを強固に取付け、暴風による飛来物から庁舎を守るとともに天井に仕上や設備を極力設けずに、家具は構造体に固定するなど地震対策を行うことを検討しています。</p>
3- ④	<p>構造によって、特性が異なるようだが、耐震強度、工費を考慮した上で決定されて、内装は町産材もしくは木材を用いた木の香りあふれる庁舎に。</p>	<p>構造種別は今後の基本設計において検討していきますが、内装を含めて出来る限り木材の活用を検討したいと考えています。</p>
3- ⑤	<p>敷地面積に限りもありますので、3階の議場はこれまでの概念にとらわれず、普段は市民の皆様幅広く活用して頂ける様、多目的な作りになって頂きたいと思えます。</p>	<p>ご意見にありますとおり、議会閉会中は多目的な利用が出来るように、今後の基本設計において検討したいと考えています。</p>
4	<p>森林資源の活用促進やその周知を図るために薪ボイラーか薪ストーブを設置してはいかがでしょうか。</p>	<p>今後の基本設計において検討したいと考えています。</p>